

# 61

## 富士ドライケム NX500 による T-BIL、血糖測定の評価

◎山本 成登<sup>1)</sup>、狩野 春艶<sup>1)</sup>、安藤 みさき<sup>1)</sup>、乾 瑞起<sup>1)</sup>、佐藤 元哉<sup>1)</sup>、石井 里佳<sup>1)</sup>、井垣 歩<sup>1)</sup>、小柴 賢洋<sup>2)</sup>  
兵庫医科大学病院 臨床検査技術部<sup>1)</sup>、兵庫医科大学 臨床検査医学講座<sup>2)</sup>

【はじめに】当検査室では、新生児毛細管採血の総ビリルビン (T-BIL) 測定および微量検体の血糖測定時には、検体量 10 μL で測定が可能である富士ドライケムを使用している。この度、富士ドライケムの機器更新を行うにあたり、富士ドライケム NX500 の基礎検討およびルーチン検査で使用する分析機器との測定値の比較検討を行ったので報告する。

【測定機器】測定機器は富士ドライケム NX500 (富士フィルムメディカル株式会社) を用いた。比較対象機器として血糖測定は GA09 (A&T)、T-BIL 測定は LABOSPECT 008 (日立ハイテクノロジー)、試薬は総ビリルビン E-HA テスト (富士フィルム和光純薬株式会社) を用いた。

【対象および方法】

- 1) 同時再現性：2 濃度の管理試料を 10 回連続で測定した。
- 2) 日差再現性：2 濃度の管理試料を 7 日間測定した。
- 3) 対象機器との比較：当院で T-BIL、血糖測定依頼のあった検体を用いた。

【結果】

1) 同時再現性は T-BIL、血糖 2 濃度ともに CV5.0%以内で良好であった。

2) 日差再現性は T-BIL 低濃度で CV5.17%であったが、そのほかは CV5%以内で良好であった。

3) 対象機器との測定値の比較

T-BIL：ドライケム NX500 (Y)、LABOSPECT 008 (X)

回帰式  $Y = 1.126 X + 0.170$ 、相関係数  $r = 0.996$

血糖：ドライケム NX500 (Y)、GA09 (X)

回帰式  $Y = 1.003 X + 3.175$ 、相関係数  $r = 0.997$

【考察およびまとめ】

富士ドライケム NX500 の同時再現性、日差再現性は良好であった。またルーチン検査で使用する分析機器との測定値の比較では T-BIL、血糖ともに良好な相関関係が得られた。新生児の毛細管採血および血糖の微量検体に対して、富士ドライケム NX500 はルーチン検査機器と同等の精度をもって対応可能であり、その有用性が示された。

兵庫医科大学病院 臨床検査技術部 0798-45-6304